

【様式4】

令和5年度三田公民館事業計画

1. 地域の状況

三田公民館は市域の東部に位置し、船橋市立三田中学校体育館と併設されており、建物は1階が公民館、2階が中学校の第1体育館で昭和50年4月開館した。

対象地域は三山・田喜野井全域4.55km²で、対象人口は令和4年10月1日現在16,685世帯、34,709人である。周辺には、千葉県指定無形民俗文化財である「下総三山の七年祭り」を行う二宮神社など歴史ある神社仏閣や巨樹古木が存在する。管区には小学校3校、中学校2校があり、静かな住宅街の中に位置する地域に定着した公民館である。

2. 地域の課題

- (1) 管区の令和4年10月1日現在15歳未満の年少人口は3,714人10.7%で、市全体の12.3%より少ない状況ではあるが、地域で子供たちを育成する体制が必要と考える。
- (2) 少子化、核家族化、社会の急激な変化に伴う子育て環境の変化により、家庭教育力の低下が懸念される。
- (3) 台風や大雨など公民館での避難所開設等も増えており、地域の防災意識を高める必要があると考える。
- (4) 管区の高齢化率は令和4年10月1日現在29.7%で年々上昇しており、高齢化が進んでいる状況である。

3. 重点目標

- (1) 学校や地域、青少年関係団体等と連携・協力を図り、青少年の健全育成に努める。
- (2) 乳幼児や子育て中の保護者を対象に、地域団体やボランティアと連携して子育て支援事業を行い、家庭教育の向上や子育て中の保護者同士の交流の場づくりを提供する。
- (3) 地域防災の拠点として災害時には避難所となることから、防災意識の向上を図る学習機会を提供する。
- (4) 高齢者の健康促進や生きがいづくりとなる事業を実施し、参加者同士の交流の場を提供することで孤立化を防ぐ。
- (5) 地域の課題や今日的課題等、多様化するニーズなどのテーマに取り組み、事業を実施する。